

## 希望



学長  
田中 厚一

President of OOJC Kouichi Tanaka

### 希望

高校に入学したお祝いに机を買ってもらった。それまでの子供用の学習机ではなく、片袖だけれども広い机だった。キャラクターなどどこにもいない。デスクマットを敷き、時間割や学校から渡される書類を挟める。ブックエンドを買い、気に入った書物を並べた。勿論、煙たい辞書も座を占めていた。

月日がたち、さすがに〈がたつい〉てきた。きしきしと音がして、引き出しがすんなり開かなくなつたのだ。それでもつい最近まで私の傍らで、いつでも〈でん〉と構えていたのである。かれ

これ、40年近くになっていた。

件（くだん）の机はその役割を全うしたかに思えた。しかし、なんと我が子どもの勉強机として息づくことになったのだ。改めて6畳の部屋に収まつたその姿を見ると、何とも嬉しかった。自分の歴史がそこに確かにあったからである。

この度、短大の机といすが一新された。綺麗で、体に優しい作りである。肌触りもいい。これからまた数十年いろいろな学生たちの希望を乗せて学び舎に〈でん〉と構えているのだろうな。未来に思いを馳せて〈うきうき〉した。

そういうば、役割を終えた机といすのその後は、と言えば…。卒業生の皆さん、どうぞ安心あれ。廃棄されたのではありません。必要とされた場所でそれぞれ第二の人生を送っているのです。それまでの多くの先輩たちの希望がしみ込んだまま…。

真実

協調

敬愛

# 学習環境整備



## 平成25年度 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金の交付が決定されました。

文部科学省では、平成25年度より「大学力」向上のため、大学教育の質的転換や、特色を発揮して地域の発展を重層的に支える大学づくり、産業界や国内外の大学等と連携した教育研究など、私立大学等が組織的・体系的に取り組む大学改革の基盤充実を図るため、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援する「私立大学等改革総合支援事業」の対象校を平成25年11月8日付で発表しました。本学は、タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」(地域特色型)の支援対象校に選定され、「平成25年度私立大学教育研究活性化設備整備補助金」の交付が決定されたので、本学の予算と併せて学習環境の整備を実施致しました。

本学が地域密着型のコミュニティカレッジとしてこれまで取り組んできた地元自治体・産業界との連携や生涯学習機能など地域が求める人材育成並びに地域貢献活動が評価されたことを受け止め、更なる発展に努めたいと考えております。

引き続き、平成26年度も教育設備の充実・整備を予定しております。

### 平成25年度

### 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金により導入したもの

#### ○講 堂

- ・電子教卓システム 1式
- ・音声映像装置（液晶プロジェクタ） 1台
- ・音声映像装置（電動スクリーン） 1台
- ・イトーキ製 折りたたみテーブル 80台
- ・イトーキ製 スタッキングチェア 240台

#### 本学予算による

- 講義室（301・304・306・307・308・310・311・心理保健実習室・406）
  - ・アイチ製 机 214台
  - ・アイチ製 イス642脚

#### ○講義室

- ・電子教卓システム 4式（301・304・305・406講義室）
- ・音声映像装置（手動スクリーン） 3台（306・308・310講義室）
- ・音声映像装置（液晶プロジェクタ） 3台（306・308・310講義室）

電子教卓システムを利用した授業です。

平成25年度において、平成24年度  
私立大学施設整備費補助金（私立学  
校教育研究装置等施設整備費（私立  
大学・大学院等教育研究装置施設整  
備費）審査の結果、本学は、「IC  
Tを活用した地域連携活動とアクテ  
イブラーニングのための講義システ  
ム整備事業」に係わる事業経費2分  
の1の補助対象の交付を受け、「学  
内LAN光ケーブルネットワーク敷設工事」と「IC  
T機器の講義シス  
テム」を導入致しました。

近年、  
大学教育の充実と質の向上  
の充実・整備を予定しております。  
引き続き、平成26年度も教育設備  
の充実・整備を予定しております。



平成24年度私立大学施設整備費補助金により導入したもの	
学内LAN光ケーブルネットワーク敷設工事	… 1式
教育設備	
・タッチパネル (BIG PAD)	… 1台
・音声映像タブレット端末 (iPad)	… 60台
・教員用デスクトップ	… 30台
・非常勤講師用ノートPC	… 3台



# 〈卒業式と祝賀会の様子〉



2014(平成26)年3月14日(金)に卒業式が行われました。

総合文化学科25名、生活科学科48名、社会福祉科71名 計144名の学生が本学を卒業いたしました。

卒業生の皆さんには緊張した様子に見えましたが、普段の服装とは違う振袖やスーツが、とても似合い輝いて見えました。卒業式が終わると各学科・課程・専攻に分かれ写真撮影が行われました。学生最後の記念になったと思います。

## 卒業式の後は…卒業記念祝賀会

帯広大谷短期大学から場所をホテル日航ノースランド帯広に移動して卒業記念祝賀会を開催いたしました。

美味しい料理やジュースを飲みながら、2年間の学生生活の話に花を咲かせる学生の皆さんです。

これからは、会える時間も限られてしまいますが、たくさんの思い出と共に元気よく巣立って欲しいと願っています。



## 編集後記

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

4月から環境が変わって社会に出る者、進学する者、皆それぞれの道を進みます。そして、これから辛いことや悔しいこと腹が立つことに立ち向かうことになると思います。卒業生の皆さんは頑張る気持ちを持っているから前向きになろう、前向きになろうとするでしょう。しかし、どうしても前を向けず、下を見ることしか出来ない時は、気負いせず後ろを向いてください。そこには、あなたを支えてくれている大切な仲間や家族がいるはずです。後向きになってしまって誰も責めたりはしません。きっと背中を押してくれる君たちの援軍になるでしょう。

(T. A.)

## 帯広大谷短期大学

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3

TEL 0155-42-4444・FAX 0155-42-4499

URL <http://www.oojc.ac.jp/> E-mail [inform@oojc.ac.jp](mailto:inform@oojc.ac.jp)

発行 2014(平成26)年3月

編集 広報編集委員